



今年度
スローガン
インスパイア

いつもわが身を鼓舞し、仲間の行動を激励し、人に感銘を与える

第 38 回例会

2023. 6. 7

会員 67 名中 51 名出席 出席率 76. 12%
修正 56 名出席 出席率 83. 58%
メイクアップ 5 名

WEBSITE!



イマジン
ロータリー

例会場 クラークリアンテナサンパレス 福島市上町 4-30

開催日 毎週水曜日 12時 30分~

会長 渡邊 正義

幹事 穴戸 隆司

会長挨拶

渡邊正義 会長



皆様こんにちは、私の任期も残す所あと 1 ヶ月となりました。いよいよカウントダウンの時期になっておきました。

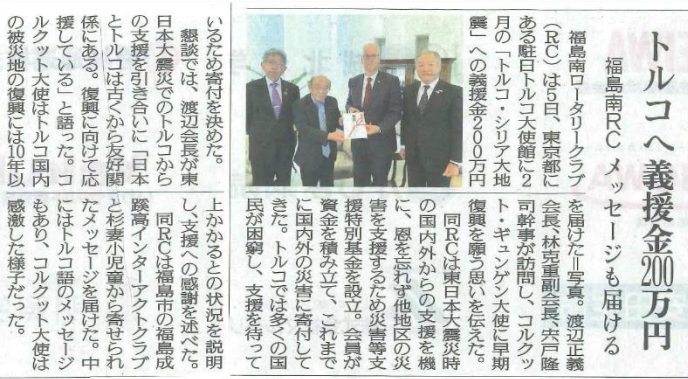
今週の 5 日に、林パスト会長、穴戸幹事の 3 人で、トルコ大使館に義援金の贈呈式に行っていました。大使館では、大使、3 等書記官、日本人の桑迫大使秘書の方に対応して頂き、桑迫さんに通訳をして頂きました。成蹊高校の生徒さんの励ましの寄せ書き、又杉妻小学校の生徒さんの激励文も一緒に手渡していました。大使館などとはなかなか縁がありませんでしたので緊張しました。

200 万円という思い切った金額を贈呈しましたが、金額の多少ではなく、我々福島南ロータリークラブとしましては、先の大震災における世界各国からの多くの支援を頂きましたので、そのほんのお礼の気持ちをさせて頂いたという事です。200 万という金額は多いのか少ないのかは分かりませんが、今私たちが出来る精いっぱい恩返しだと私は思います。金額の多さもそうですが子供たちの励ましの寄せ書きに、おおいに感動して頂いたようです。

大使館の敷地に一步中に入ればそこは治外法権、日本の法律は通じません。外国の大使はもっと尊大な方なのかなと思っておりましたが、なかなかフレンドリーな方で親しみ安さを感じました。日本、トルコの両国の友情は明治時代のトルコ船の海難事故の時から 100 年以上も続いており他国とは比較できないくらい親密さを感じましたが、今回の件で、尚一層身近に感じる事が出来ました。この友情がいつまでも続くようにと、おっしゃってありました。

ちなみに日本にある大使館、総領事館は 231 カ所、そのうち大使館の数は 154 カ国です。日本はアメリカ、中国に次いで 3 番目に多いようです。

以上会長挨拶を終わります。



(2023 年 6 月 7 日 (水) 福島民友新聞 朝刊記事)

米山奨学生奨学金授与

リン インテイ
胤廷さん



皆様こんにちは。先日研究室の先生と柔道について色々話しましたし、今研究していることについてもたくさんのアドバイスをいただきました。そして嬉しいことがありました。その研究室で私と同じく柔道が好きで日本留学を決めた中国の方と出会いました。



私日本に来て初めて柔道が好きな留学生と出会ったのでとても嬉しかったです。そしてこれから大学の試験がありちょっと緊張してきましたが、段々力がついてきたので頑張りたいと思います。今日もよろしくお祈りします。

退会挨拶

川島利文 会員



皆様こんにちは。本日は貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。このたび今月一杯を持ちまして福島南ロータリークラブを退会させていただくこととなりました川島でございます。また例会出席につきましては本日が最後となりました。

今年の3月にこのクーラクーリアンテサンパレスの閉館の発表がありましたが、そのとき私の人事異動についても発表がありました。そのため3月でこのWithWeddingを離れ、4月1日からは霊山にあるカンノ・トレーディングという石材を取り扱うグループ会社へ異動となりました。今回は残念ながら会社の方針で退会することとなりましたが、皆さんが一生懸命に会員増強活動をしておられる中、後任の予定も立たないまま退会しますこと、そして会館閉鎖に伴う例会会場の確保では皆様に大変ご不便をお掛けすることになってしまいましたこと、本当に申し訳なく心からお詫び申し上げます。

この施設ではロータリー6クラブをはじめ、他にも沢山の例会を承っておりましたが、福島南ロータリークラブの皆さんはおそらく他のどのクラブよりも一番熱心に活動をされていると実感しております。私はわずか2年間という

短い期間の活動ではありましたが、そんな情熱を持ったクラブの一員であったことを誇りに思います。

そして右も左もわからなかった私に色々ご指導を賜りました皆様へ感謝申し上げます。

まずは渡邊会長、宍戸幹事、会報委員会、親睦委員会の皆様、あまりお役に立てず申し訳ありませんでした。そしていつも細やかなアドバイスをいただきました大橋パストガバナー、私のカウンセラーとして色々ご指導いただきました廣澤さん、毎回明確なテーマ・具体的な話・シンプルにまとめられた内容・聞き取りやすく丁寧な話し方でスピーチのお手本というべきご挨拶をいただいた一條前会長、例会運営のイロハを毎週教えてくださった吉田前会場監督、いつもパンチの効いたジョークで笑わせていただきつつ、それでいて会場運営のことを常に心配してくださった高橋勇雄さん、そしてあらゆる面でお世話をいただいた事務局の佐藤さん、そのほか皆様全員に心から感謝申し上げます。



今後の福島南ロータリークラブの益々のご繁栄と、会員の皆様並びにご家族の皆様のご多幸を祈念いたしまして、簡単ではございますが私の退会のご挨拶とさせていただきます。

皆様、2年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

6 月度誕生祝い



(左から) 渡邊正義会長、尾形博幸会員、小坂和也会員、菊地和宏会員、阿部公哉会員、川島利文会員、河谷 元会員、半澤一成会員



皆様こんにちは。こんにちは。今年度の最後の友の時間という事です。ロータリー年度末の6月は親睦活動月間。じゃあロータリーにおける親睦は何なのかというと、新会員の方もたくさん増えてきましたのでロータリーの親睦というのは遊ぶということではないので説明します。

手元資料の1ページ。これ一番大事なロータリーの基本理念。ご覧になってない方はもう頭の中に入っているという事です。ロータリーには基本理念があります。その基本理念というのが、このロータリーの目的と4つのテストに記載されていますので、復習ですからまず読んでみます。まず第1の基本理念のロータリーの目的とは何なのか。第1に知り合いを広めることによって、奉仕の機会とする。第2に職業上の高い倫理基準を持ち役立つ仕事は全て価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする。第3にロータリアン1人1人が個人として、また事業及び社会生活において日々奉仕の理念を実践する。第4に奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて、このあとが一番大事。国際理解、親善、平和を推進する。新会員の方によく

理解していただきたいことは、ロータリーは世界平和を目指している組織である。ですからロータリーの目的の第1は知り合いを広げる、これが親睦ですね。知り合いを広げて奉仕の機会とすること。第2はロータリアン各自の職業を高潔なものとする。自分の仕事に自信を持つ。第3は日々奉仕の理念を実践する。第4に世界平和を目指す。これが目的です。毎例会ごとに4つのテストを読み上げる。3番目の行為と友情を深めるか、これは親睦ですね。ですから、ロータリーの目的の第1に知り合いを広めること、そして4つのテストの3つ目、好意と友情を深めること。これらのことを踏まえて、ロータリーというのは5つの奉仕部門を持っている。前にも何度かご説明しましたが、2009年までは4つでした。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして2010年から青少年奉仕が加わる。これも読んでみますけども、奉仕部門の1つ目、クラブ奉仕は「会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行う。」職業奉仕は「すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立つ。」社会奉仕は「すべてのロータリアンが地域の人々の暮らしを豊かにし、より良い社会的づくりに貢献する。」国際奉仕は「平和と相互理解を推進する、平和を求める。」そして2010年に青少年奉仕です。ちなみに青少年奉仕というのはずっと社会奉仕の中に含めて活動していた。

1905年にロータリーが発足したあと、1907年の記録にはもうBOYS&GIRLSっていうのが出ていますから、子供たちと活動を共にしていたっていうのはもう1908年からもう始まっている。

ですけれども、社会奉仕の中に含んでおける時代ではないと考えたロータリーが、2010年に単独で新世代奉仕として立ち上げた。これが今の青少年奉仕ですけど、「青少年奉仕はインターアクト、当クラブは成蹊高校をスポンサーしていますけど、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるように支援する。ロータリアンはこの青少年たちを支援すること。これがロータリーの基本理念です。

最後の友の時間なので、ロータリーには、これらを踏まえて7つの活動分野、1つが2ページ目ですね、最初に出てくるのは平和の推進ですね。ロータリーは平和を最終的に求める組織、平和の推進、疾病との戦い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展までだったんですよ、2020年までは。それが2021年に環境の保護というのが加わりましたので、これも頭に入れておいてください。

福島南ロータリークラブはずっと猪苗代湖の水草除去の活動をしていますけれども、水に関わる活動をしようということで、阿久津さんがガバナーの時にまず阿武隈川、第2弾として猪苗代湖に移って水草取りをして、本当は第3弾は松川浦に移って太平洋側をやろうとしたんですけど、3.11が来ちゃったから太平洋側には行かずにそこで頓挫して、今も水草を取り続けています。それはあの水の衛生の活動だったんですけど、2021年に環境の保護というのが入りましたから、これに移っていきますね。ですから福島南ロータリークラブは当然、水草除去っていうのは社会奉仕なんですけど、会員同士で行くこと、これ最初言いましたけど、会員同士の親睦を深めていますよね。だからこれはクラブ奉仕です。もう1つ、成蹊高校を必ず連れてきますよね。ですからこれは青少年の育成支援、これ青少年奉仕ですね。次に社会奉仕。だから3つ同時にやり続けているのはうちのクラブだけです。

さて、それでは友の7ページ開いてください。親睦活動月間なので、ここにロータリーの親睦活動グループという特集が載っているんですけども、ロータリー親睦活動とはなんなのか。これですね、15ページにロータリー親睦活動とはなんなのかって。ロータリー親睦活動っていうのは、酒飲んだり、隣の友達と一緒に釣りに行ったりするんじゃないですよ。14ページの真ん中にロータリー親睦活動グループの認定があります。一番大事なのは、5カ国以上の友達とメンバーにならなきゃいなくて25人の会員がいる。これがあってはじめてロータリー親睦活動。実際にロータリー親睦活動には世界中にこれだけいろんなグループがあって、5カ国以上の人たちとこの活動を25人以上でずっと続けていることをロータリー親睦活動と言います。

エントリーの方法がここに書いてあるんです。最初のページに戻って7ページから8ページ。世界のロータリアンが集まるスキーの大会を北海道でやったんですけども、実はISFR日本会長は我がクラブの盟友である麴町ロータリークラブの会員だったということ。私たちに言ってくれば猪苗代かどこかで開催できたんですけども、やっぱり日本でやるんだったら北海道となったのでしょ。こういう風にして外国に行かなくても、いろんなことで通じ合うことができますし、すぐに入会することができます。ですからロータリー親睦活動、世界の人たちと繋がることはこれだけでもできるので、ぜひ皆さん参加されてみてはいかがでしょうか。それでは次年度もメンバーを変えてまたお話をするかと思いますので、よろしくお付き合いください。ありがとうございました。

クラブ協議会 委員会活動報告

会場監督 鈴木光一 会場監督



会員 SAA は今年度も司会進行を務めてまいりました。例会の進行は SAA 全員が当番によって担当させていただきました。例会中の注意としましては、毎回携帯電話を切るかマナーモード設定の徹底、新しいバッジの着用、コロナ禍の中なかなか唱和できなかったんですけど、ここに来てやっと4つのテストやロータリーソングがマスクを着けたまま歌えるようになってきたということで進めてまいりました。あとは例会中に食事を組み入れることといたしました。大切なゲストの場合は、食事のメニューを変えて調整、またアレルギーについても検討し対応してまいりました。あとは、来訪者の対応については SAA が積極的にゲストの方をテーブルへ案内、テーブルへも名札を置いてまいりました。新会員や米山奨学生についてはカウンセラーと同伴して、毎月、テーブルごと席を変えて対応させていただきました。あと幹事報告を入れるということで、例会出席率や諸事連絡等を入れて行ってまいりました。夜間例会については、コロナ禍でなかなか盛大な例会はできませんでしたが、親睦委員会が中心になって進行させていただきました。その他随時、会長、幹事と私とで打ち合わせなどして対応させていただきました。あと最後に、会員の皆様、SAA 委員会の皆様、クーラクーリアンテの皆様、事務局の佐藤様に1年間お世話になりましたこと、ありがとうございました。あと3回ありますので、頑張ってください。よろしくお祈りします。



未来計画委員会 松崎弘昭 委員長

将来心豊かな人生を目指すために、目標に従って具体的に委員会活動を行ってまいりました。まず具体的な活動の中で、ファイヤーサイドミーティングを掲げておりました。年間3回ほど計画しようという風に思っていたんですが、なかなか実現できなくて、実際には11月16日にやった1回だけで終わってしまいました。内容としてはクラブの運営についてとか、特に例会数についての討議、それから当時はシニア会員という風に言っておりましたプラチナ会員制度について討議を行いました。

例会数の討議については、色んな意見をいっぱいいただいたんですけども、もっとメイクアップを有効に利用して、例えば例会数が少なくなるような時には、メイクアップを有効に利用したらいいんじゃないかという有効なアイデアを頂戴しました。プラチナ会員制度につきましては、その後委員会で色々お話しをさせていただきながら、実現に向けて検討を重ねて、先月の理事会で細則変更ということでプラチナ会員制度を作ることができました。内容については、要するに高齢化が進んでいく中で、会員のこの世代交代ということを円滑に進めるということを目的に検討してきたわけでございますけども、歳とってから世代交代しながら生涯ロータリアンである、そういった機会を作るということで、そういう制度を検討したわけでございます。具体的には、今いる会員の方の後継者、同じ事業者の後継者が入会した時には、現会員はプラチナ会員になることができる、もしくは今いる現会員の方々が自分の後継者だと指定をした新会員が入っていただく、それには条件がありまして、出席免除資格っていうのが規則の中にありますけども、出席規則に該当する80歳以上になった会員の場合、自分が後継者だと指定した方を入会させた時には、プラチナ会員になることができるということになります。プラチナ会員になれるということは年間の会費が5万円、その他に制限がありますけども、年間5万円で生涯ロータリアンになっていただけるというような制度になっておりますので、具体的な細かい話はこの場では時間がないので割愛しますが、そういったことにちょっと興味がある方は事務局なり次年度会長なりにお聞きになればいいかなと思います。その他にも事業計画がありましたけども、なかなか実現できなかったところもありますけども、その辺は次年度に取り組みたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。



会員増強委員会 高橋勇雄 委員長

会員増強委員会の活動報告です。今年度は主にオープン例会の開催に力を入れました。近い将来も含めて今後入会を勧めたい方々をオープン例会形式で例会に招待。雰囲気とそこで知り合えた友人、知人を糧に晴れて入会まで発展させようという開催でありました。第1回が昨年の8月31日、ここでは招待者9名で開催しました。会員のスピーチでは半澤一成さん、一條浩孝さんの両名で、例会ではこんなすごい話が聞けるんだというような内容でありました。第2回が今年の2月1日、招待者は5名で開催しました。会員スピーチとしては高橋和之さん、鈴木洋子さん、このお二人をお願いいたしました。ロータリーってこういうすごいクラブなんだという内容と、こういうすごい志を持った方がいるんだなというような両名のスピーチでございました。その結果、今年度は入会者が7名、阿部公哉さん、清水武さん、増子芳教さん、植松みち子さん、安永真吾さん、松本圭司さん、木村学さん、この7名が入会しました。あと

金子與人さん、大堀通宝さん、恵利紀之さん、宮城貴志さん、川島利文さん、以上5名が残念ながら退

会。トータルで2名増という内容でございました。なお今月、新たに3名の入会審査を行いまして、先ほど会長から理事会の通知がございました。順当に行けば、来月早々にはこの3名の方の入会式が行われるのではないかとこの風に思っております。以上、会員増強会委員会でした。ありがとうございました。



ロータリー財団委員会 笠 雅樹 委員長

皆さんこんにちは。財団委員会から報告いたします。本年度はフィリピンのセブロータリークラブとの国際プロジェクトで、セブ島の女子校への職業訓練施設の設置を計画、申請しております。まだプロジェクトの可否は出ておりませんが、皆様にたくさんのお金を寄付をいただいたこと感謝申し上げます。

5月現在なのですが、ポリオプラスが目標金額の72パーセントで、年次基金が86パーセント行っております。あと残り3回ありますので、ぜひ100パーセントになるように、皆様ご協力いただければ非常にありがたいと思います。

またベネファクターは今年は残念ながらありませんでした。たくさんのお金を寄付をいただき、本当にありがとうございました。以上、報告いたします。ありがとうございます。



米山記念奨学会委員会 横山りつ子 委員長

活動報告を行います。当クラブ受け入れ2年目の于秋麗さんは、今年度は米山の受付に座っていただき、皆様の顔と名前を覚えてとても楽しかったとお話してくださいました。そして委員会は4回開催しましたが、第1回の打ち合わせを除きまして、全て秋麗さんを囲む委員会と名付けました。彼女と委員の皆様と交流がたくさんできて良かったと思います。そして今日第38回で皆様の寄付金も183万7500円となりました。あと3回で200万円近くいければ、次年度の奨学生にも還元できるかと思って喜ばしく思っています。最後に委員の皆様、会長、幹事もお忙しい中、委員会にご出席いただきまして、本当にありがとうございました。感謝申し上げます。